



ふるばやし

京都府議会議員

vol.0 | 2019.10

# 古林よしたか 府議会報告

ずっと住み続けられるまちへ

京田辺市 井手町  
宇治田原町



【発行】古林よしたか 〒610-0334 京田辺市田辺中央3丁目3-1プレステージ書番館106号 TEL.0774-64-7078

furubayashi-yoshitaka.com

## 京都府議会議員になって

京都府議会議員の古林よしたかです。4月の京都府議会議員選挙では、皆様のお蔭をもちまして、13,972票を頂戴し初当選することができました。1票1票の想いを胸に、選挙時にお約束した「故郷にずっと住み続けられるまちづくり」を皆様とともに行ってまいりますので、どうぞ指導・ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

私は、政治において大切なことは「みんな」にとって、より良い世の中をつくっていくことだと考えています。そのためには、防災・交通・教育・医療・食の安全といった基盤整備をしっかりと行うことが大前提となります。しっかりとした基盤があるからこそ、「みんな」が安心して豊かな日常生活を送ることができます。

そこで大切になってくるのが「保守」という考え方です。「保守」を辞書で調べてみると、「昔からの伝統を守り、ものごとを急に改めることに反対すること」(三省堂国語辞典第七版)と書いてあります。なぜ昔からの伝統を守ることが大切なのか。それは、人間は間違いを犯しうる存在で、どんなに良い考えだと思っても、それはその人個人の思いつきにしか過ぎず、仮にその時は良くても時間が経ってから振り返ってみると、やら

ない方が良かったということが、人類の歴史をみてもよくあることからです。伝統というものは、先人の様々な経験の中から、時の試練に耐えて生き残ってきた、洗練された智慧の結晶なのです。

しかし、伝統はただ守れば良い、というものでありません。なぜなら、伝統を守ろうと思っても、世の中は絶えず変化しているため、従来通りのやり方では伝統を守れなくなるからです。だから、伝統を守るためには、先人が後世の私たちに伝えようとした精神の本質を理解しようと努め、変えてはならないものと、何をどのように変えるのかを慎重に見極めなければなりません。

そうすることが結局は、安易な改革をすることよりも、早く確実に「みんな」にとって良い世の中をつくることとなります。

「保守って、前例踏襲をしているだけでつまらない」というイメージをお持ちの方がおられるかもしれませんが、しかし、本当の保守とはその真逆で、凄まじい思考の格闘が自分の中や他者との間で常に繰り返されており、活力にあふれています。しかも、そこに謙虚な姿勢も同居させなければなりません。私は保守を目指す政治家として、皆様おひとりおひとりから学ばせていただき、自分自身でも勉強し続けることをここに誓います。

京都府議会議員 古林 良崇



自由民主党京都府議会議員団1期生集合

所属会派

自由民主党京都府議会議員団

所属委員会

農商工労働常任委員会

商工労働観光部の所管及び  
それに関連する事項  
農林水産部の所管及びそれに関連する事項

子育て環境の充実に関する特別委員会

出会い、結婚、妊娠及び出産並びに保育・教育に至るまでの子育ての環境の充実のための施策(貧困対策、ひきこもり対策、児童虐待対策及びいじめ対策を含む)の調査・研究

# 視察報告

所属している委員会で管外視察や管内調査に行き、京都府政に活かせるよう日々学んでおります。



ベジ・アビオ



燕三条地場産業振興センター



アグリパーク

## 農商工労働常任委員会 管外視察

- 株式会社ベジ・アビオ(新潟県新潟市)にて、植物工場による苗生産及びICT(=Information and Communication Technology…情報通信技術)を活用した高糖度トマト生産について調査。
- 新潟市アグリパークにて、農業活性化に向けた子どもの農業体験学習などの取り組みについて調査。
- 燕三条地場産業振興センター(新潟県三条市)にて、燕三条の金属加工を中心としたものづくり産業の振興の取り組みについて調査。
- 三条ものづくり学校(新潟県三条市)にて、同校を拠点とした三条ものづくり産業振興の取り組みについて調査。
- とやま農業未来カレッジ(富山県富山市)にて、就農支援の取り組みについて調査。



## 子育て環境の充実に関する特別委員会 管外視察

- 常陸太田市議会(茨城県常陸太田市)にて、「子育て上手 常陸太田」の取り組みについて調査。
- 茨城県議会(茨城県水戸市)にて、「茨城県子どもを虐待から守る条例」と児童虐待対策について調査。

## 農商工労働常任委員会の管内調査

- 京都経済センターの運用状況について調査。
- 京都府立京都高等技術専門校の現状について調査。
- 平成30年の台風21号による被災農家の復旧状況について。
- 福知山市の農村地域防災減災事業としてため池整備の状況について調査。
- 丹後・知恵のものづくりパークにて京都府北部地域の中小企業振興について調査。



京都府立京都高等技術専門校



台風被害からの復旧状況



福知山市のため池整備



丹後・知恵のものづくりパーク

## 研修

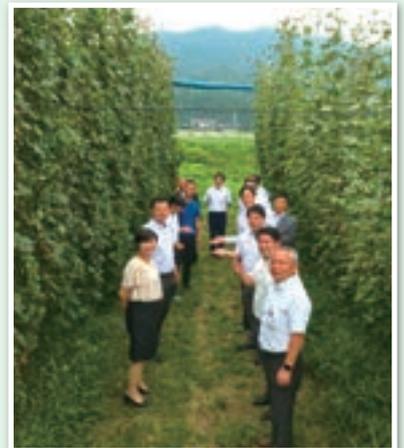
宮津市・与謝野町

宮津市・与謝野町へ研修に行ってまいりました。それぞれのまちの首長や議員の方々から、まちづくりにかける想いを聴かせていただきました。今回の視察を通して、「今の時代は行政も民間のように稼がなければならない」と強く思い込まされているのではいか、と感じました。今、世の中全体で「行政の赤字=悪」だと決めつけ過ぎる風潮があるように思います。

行政は、民間企業では採算が合わなくてできないことでも、社会の秩序を保つために必要なことをやっています。行政が本気で黒字化を至上目標としてしまうと、私たちの安定した豊かな暮らしは瞬く間に崩れ去ってしまうことも、私たちは知っておかなければなりません。

安易に行政に経営感覚を求めることが、長い目でみたら逆に社会を脆弱にするということが多々あります。大切なのは、民間と行政それぞれが協力し、各々の長所を伸ばして役割を果たすことだと思います。

私は京都府議会議員として、民間と行政の良いところを結び付け、住民の皆様への恩恵が1+1=2ではなく、3にも4にもなるように、全力で取り組んでまいります。



コラム

# 地域活性化のために

京都府議会議員となり、議会や視察、政府要望、地元の聴き取り等の中で強く感じることは、地方の厳しい財政状況です。地方自治体は、何をしても予算が限られ過ぎていて、やらなければならないことなのに実行できないことがあまりにも多いということです。ですので、いかに予算を生み出し、獲得するかという、私の使命の重さを痛感しています。

私の選挙区は、木津川を挟んで、左岸の京田辺市と右岸の井手町・宇治田原町があります。私は、木津川右岸と左岸の市町の格差を是正していくことが、喫緊の課題だと考えています。

こうした格差は、自治体の努力不足というよりも、交通インフラの格差によって生じています。生まれた地域によって生活の質に大きな差を生んでしまうと、便利な地域への人口流出を引き起こしてしまいます。

日本全体では、それが東京一極集中となって現れています。首都圏への一極集中は、自然現象ではありません。その証拠に戦後、首都に一極集中を引き起こしている先進国は日本だけです(図1)。そしてその原因は、道路や鉄道などの交通インフラのアンバランスな整備によるものです(図2)。日本では、首都圏とだけ全国各地域を道路や鉄道で繋いだ後、公共投資を削減してしまいました(図3右)。それが原因で、首都圏以外の各地域同士の交通インフラネットワークが整備されず、首都圏と地方で大きな交通インフラ格差を発生させてしまい、地方の人々や企業が首都圏へ集中してしまいました。その結果、人口の自然減少に加えて首都圏への人口流出が激しくなり、その人口減少速度に地方自治体に対応しきれずにいるというのが、今の日本の現状です。

本気で地方創生をしようとするのなら、まずは日本全体で均衡ある交通インフラの整備をしなければなりません。また、高度経済成長期に整備された道路や橋、トンネル

等の改修、そして近年激甚化している自然災害からの防災をするためにも、公共投資を大幅に増やさなければなりませんことは明白です。さらに、公共投資を増やせば、経済も成長します(図3右と左)。経済が成長すれば、税収も増え、福祉を充実させることができます。

公共投資を増やし、交通インフラを整備することで地方が元気になり、日本人の生産性が向上し、私たちひとりひとりの所得が上がります。また防災インフラを整備すると、安全な国土になるので、人命が守られることはもちろん、経済活動がさらに円滑になり、充実した福祉政策を行うことができるようになります。全てが好循環し、みんなにとって良い事づくめなのです。

私は、こういう視点を持っているからこそ、福祉の充実のために道路整備や防災対策の重要性を訴えています。「予算がない」という意見にも、「政府が公共投資を増やしていないから、税収が増えず予算も増やせないんだ」と説明しながら、地元の首長や議員の方々、そして安藤裕衆議院議員ともしっかりと連携をして、まちづくりを前へと進めてまいります。格差の是正と住民福祉の向上を目指し、「ずっと住み続けられるまち」を皆様とともにつくりていくために、全身全霊をもって活動してまいります。



図1 首都圏への人口集中の国際比較

首都圏への人口集中を諸外国と比較すると、日本のように首都圏の人口比率が高かつ上昇を続けている国は欧米諸国にはみられない。



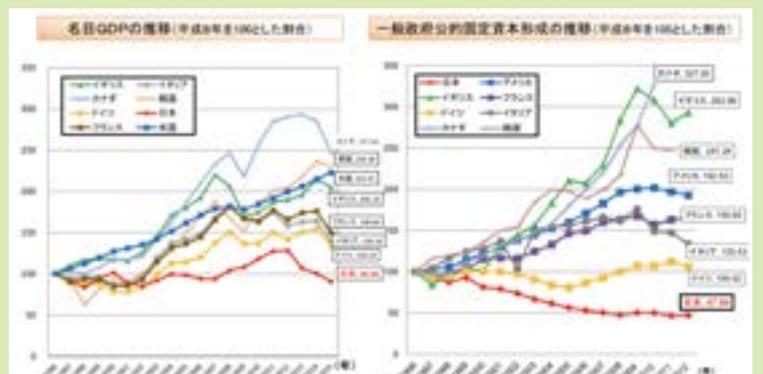
図2 道路ネットワークの国際比較 (制限速度60km/h以上)

日本ではサービス水準の高い道路がネットワーク化されていない。



図3 公共投資水準の国際比較

OECD主要国における名目GDPが成長を続ける中、我が国は20年前とほぼ同じ水準。OECD主要国における一般政府公的固定資本形成(公共投資)は増加傾向。他方、我が国はこの15年で半減。



出典:国土交通省資料

自由民主党京都府議会議員団による

令和  
2年度

# 国の施策及び 予算に対する政府要望

私の担当は、文部科学省と経済産業省でした。以下、要望内容(抜粋)です。

## ①私立高校の授業料無償化について **文部科学省**

令和2年4月から開始するとされる、年収590万円未満世帯を対象とした私立高校授業料の実質無償化について、確実な実施を要望。

あわせて、公立・私立で格差なく教育費負担を軽減するため、年収910万円未満の世帯に対しても、実質無償化となる約40万円まで就学支援金の拡大を要望。

## ②先端技術×文化による 新たな価値創造について **文部科学省** **経済産業省**

文化財の多面的な活用に向けて、文化財と最先端技術のどちらにも強みのある京都府の特性を活かして、「関西文化学術研究都市」を文化財の保存・修復・復元・活用の日本の拠点として位置づけていただきたい。

例えば、これまで、学術的な仕事として行っていた文化財保存を、日本だけでなく海外の文化財の修復も請け負えるようにしていき、業として成立するようにしていきたい。

## ③社会実証型 物流革命拠点の創設について

**経済産業省**

物流の生産性向上のために、自動運転を組み合わせた新しい物流システムを国家的につくっていくなかで、阪神圏と東海圏のちょうど真ん中に位置し、関西の中心にも位置する京都府南部地域に物流拠点の中核を設置していただきたい。

## ④関西文化学術研究都市での 最先端研究の推進について

**文部科学省**

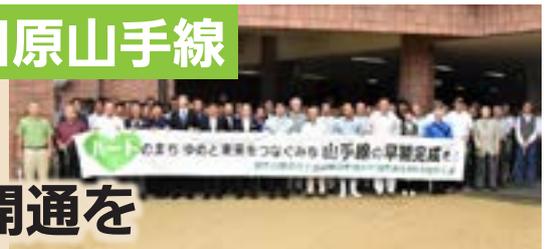
## 知事へ要望

### 国道307号 道路整備促進



### 宇治田原山手線

### 早期 全線開通を



## 地元を走り回っています!!

京都府議会議員となってから、農福連携で日本の先頭を走っておられる「さんさん山城」、関西文化学術研究都市にある「ATR」、他にも「JA 京都やましろ」、「京都府宇治児童相談所 京田辺支所」、「お茶の京都 DMO」などへ、視察に行かせていただいております。また、府庁・各市町の役所、山城広域振興局、山城北土木事務所、西部土地改良区、地元の小学校などにも訪問し、わからないことを教えていただいております。また、地元の様々な行事にもできる限り参加させていただき、地域の方のお声も聴かせていただいております。



皆様の  
ご意見・ご要望  
お待ちしております。



## 古林よしたか 事務所のご案内

〒610-0334  
京田辺市田辺中央3丁目3-1 プレステージ壱番館106号  
TEL.0774-64-7078 FAX.0774-64-7079  
✉ furubayashi.yoshitaka@gmail.com



twitter



facebook